SIA PUBLIC RELATION PAPER
SIA NEWS
Proffessional Ski Instructors Assosciation of Japan
VOL.180
2019.1.25
安全なスノースポーツを SIA
PROFESSIONAL SKI INSTRUCTORS ASSOCIATION OF JAPAN
SIAは日本を代表して国際スキー教師連盟（ISIA）に加盟しています。
人に優しく、自然に優しく。
～白い雪山をいつまでも～
クリーンキャンペーン SIA
8月11日は「山の日」
1月12日はスキーの日

SIA フェスティバル2019 各種開催概要

総裁　彬子女王

石打のスクールに寝泊まりするとき、たまに朝ご飯当番をすることがある。男性陣が雪かきや看板立てなどをしている間に、卵を焼いて、ちょっとしたおかずを用意する。限られた材料と調味料しかないので、もちろん簡単なものしか作れないのだけれど、何作ろうかなと考えている時間が結構楽しかったりする。

私はどうしても薄味にしてしまう傾向があり、「病人食か!?」などと突っ込まれることがよくあるので、味付けするときは実はいつもドキドキしている。そうこうしているうちに、みんなが三々五々朝の仕事を終えて、スクール内に戻ってくる。机を誰かが出してくれている音がする。パチンと言う音の後に、テレビががやがやと言い始める。「もうパン焼いていいですか～?」という声に、「はーい、お願いしまーす」と返事ができたら、タイミングとしては完璧である。お皿を人数分机に並べて、フライパンから男性陣はちょっと多め・・・などと考えながら取り分ける。その頃には珈琲がいい匂いをさせ始めている。私のマグカップに入る珈琲はいつも半分。私が朝は珈琲に牛乳をたくさん入れて飲むのをみんな知っているから。そんな何気ない当たり前がとても心地よい。

人数が多いときはタワーのように積み上がったトーストを前に、誰が決めたわけでもないのに、なんとなく決まっているそれぞれの定位置の席に着く。いつもと違う席に座ると、何だか気持ちが悪いので不思議だ。トーストに挟んで食べる人、必ずマヨネーズをかける人、パンいらないとわがままを言う人・・・例年通りの光景が広がると、あー、帰ってきたなぁという気持ちになる。

みんなでテレビを見ながら朝ご飯を食べ、男性陣が後片付けをしてくれている間に、しゃこしゃこと歯磨きをする。校長と副校長が出勤してきた物音を下に聞きながら、身支度をして、「行ってきまーす」と朝一番のピステに出かける。そんな石打の朝の時間が私はとても好きである。それは、私が石打プロスキースクールの家族であると実感できる時間であるからなのだと思う。

新たなスタートを迎えるにあたって

会長　中島 英臣

昨年の11月にはSIAにとって大きな節目となる50周年記念式典が執り行われました。

彬子女王殿下におかれましては、ご公務で大変お忙しい中、総裁というお立場でご挨拶を賜りましたこと会員を代表して御礼申し上げます。また、賛助会員の皆様、会員の皆様、関係役員の方々のご支援ご協力で、この式典と祝賀会を成功の内に終えることができましたことをここにご報告しておきます。

いま、日本のスキー場には外国からたくさんの方々が訪れ冬を楽しんでいます。それに合わせるように日本の組織を無視した外国人が日本のスキー場で簡単にスキー学校を開校しているという不条理なことも起きています。この件に関しては他の組織とも協力し、国にも働きかけトラブルのないようにすることが必要になります。ISIAに加盟しているSIAの存在が試される時だと感じています。

また、我々を取り巻く環境の変化に合わせ、指導システムも変え、2019年から準会員の方々をSIA認定ステージIとし、資格をステージⅣまでの4段階としました。資格の重要性を会員ひとりひとりが自覚して指導に携わっていくようにしてほしいと思います。

2019年、新たな一年がスタートしました。

生徒さん達が「教わって楽しい」「上手くなりたい」など 期待や希望の持てるような指導の在り方が大切になります。教師となる会員ひとりひとりが生徒さんに対する思いやりのある言葉遣いや心遣い、節度のある親しさで接する公平な態度、何よりもわかりやすい指導をしながら新たなスタートを迎えていることを祈念しています。

今シーズンもプロのスノースポーツ教師として、SIAの理念にのっとり、ひとりでも多くの方々に「スノースポーツの楽しさ」を伝えていきましょう!

新役員紹介

平成30年11月15日開催の第39期定時会員総会において、任期満了に伴う役員改選が行われ、新役員が決定しました。(平成30年1月20日現在)

会長
中島 英臣 67歳
大鰐スキースクール校長

副会長
宮田 隆史 67歳
ニセコアンヌプリ
スキースクール校長

専務理事
(総務部兼任)
総務部・国際委員長
杉山 公信 49歳
杉山スキー&スノースポーツスクール 校長
SHIGA INTERNATIONAL
SKI SCHOOL校長

新役員紹介

常務理事
（総務部長）
総務部・財務委員長
横元 信明 64歳
中里スノーウッドスキースクール 校長

常務理事
（教育部長）
教育部・技術委員長
久慈 修 48歳
TSO SKI ACADEMY 校長

常務理事
（学校部長・
広報部副部長兼任）
広報部・普及委員長
江畑 昌英 60歳
木島平プロスキースクール 校長

常務理事
（広報部長）
広報部・広報委員長
奥村 治 59歳
ヘブンスそのはら
プロスキースクール 校長
水上高原
プロスキースクール
&キッズアカデミー 校長

理 事
（総務部副部長・
教育部兼任）
総務部・総務委員長
教育部・研修委員会
北神 有理 50歳
高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL

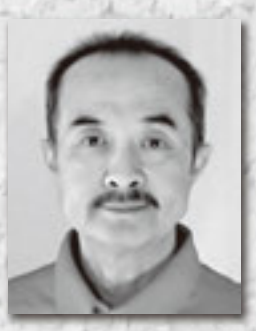
理 事
（教育部副部長・
総務部兼任）
教育部・資格委員長
総務部・支部委員長
横尾 恵里 58歳
オニコウベスキー&
スノーボードスクール 校長

理 事
（学校部副部長・
教育部兼任）
学校部・学校委員長
教育部・障がい者スキー委員長
資格委員会
山之内 弘 63歳
ヨーデルスキー学校 校長

理 事
（教育部担当・
総務部兼任）
教育部・研修委員長
総務部・支部委員会
松居 文智 51歳
富井スキースクール 校長

理 事
（学校部担当）
学校部・安全委員長
阿久津 千恵子 63歳
2in1ベーシックレーシングアカデミー

監 事
梶井 晃 53歳
公認会計士



監 事
川野 徳廣 67歳
北広島スキースクール21 校長

監 事
藤原 秀昭 63歳
高天ヶ原
SKIWI SKI SCHOOL

【新人事務局員紹介】

五井 裕行

「12月1日よりSIA事務局に入局いたしました。不慣れな点が多く、皆様にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、早期に戦力となれるよう精一杯努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。」

〈SIA事務局　新体制〉
事務局長／里中 英二　46歳
事務局員／五井 裕行　（2018年12月1日採用）　30歳
シニアアドバイザー／大峡 慎吾　60歳
事務局員／黒石 とし子　（2019年 3月末日退職予定）　68歳

※2018年9月30日付け大峡慎吾事務局長の定年退職に伴い、2018年10月1日より事務局長に里中英二が就任いたしました。大峡前事務局長はシニアアドバイザーとして事務局に勤務しています。

会員研修会規程運用に関する説明（平成24年10月1日より施行）

活動状況によって「活動会員」と「維持会員」に明確に分け、4年毎の更新制となっています。

1.更新年度は各会員の入会年度により異なり、入会した年度より起算して4年毎に更新年度が決定されます。

2.活動会員になろうとする場合、4年間(SIA会計年度4期)に8単位取得と救急法の資格が有効であることが必要条件となります。

3.更新年度に研修会の参加義務を果たしている場合、活動会員として更新され翌年度より4年間（SIA会計年度4期）有効となり、公認スキー学校規程設置基準6項に定める構成メンバーとなれます。但し、この期間中救急法の受講を有効期限内に修了し、更新しなければいけません。もし、更新 しない場合は維持会員となります。

4.更新年度に研修会の参加義務を果たしていない場合は維持会員となります。

5.維持会員が活動会員になろうとする場合は、研修会の参加義務を果たし届け出ると、届け出日より活動会員となります。（下記の更新日に変更はありません。入会年月日に応じたものとなります。）

現在の有効単位と更新日は宛名ラベルでご確認いただけます。

更新日	有効単位について				
	期間（SIA会計年度）	現在の有効単位に反映される会期			
		37期	38期	39期	40期
2019/9/30	2015/10/1 ～ 2019/9/30	○	○	○	○
2020/9/30	2016/10/1 ～ 2020/9/30		○	○	○
2021/9/30	2017/10/1 ～ 2021/9/30			○	○
2022/9/30	2018/10/1 ～ 2022/9/30				○

＋＋＋ 救急法受講の手引き ＋＋＋

活動会員には救急法講習を受講することが義務付けられています。
下記のいずれかに参加し、認定証・受講証・修了認定カードをSIA事務局に提出してください。

•消防署普通救命講習　•消防署上級救命講習　•日本赤十字社救急法基礎講習
•消防署応急手当普及員養成講習　•日本赤十字社救急法救急員養成講習

会員研修規程

3. 資格更新　⑵活動会員は下記に定める救急法講習会のいずれかを受講し修了する。
ただし、それぞれの有効期限内に更新しなければならない。
①消防署　普通救命講習または上級救命講習または応急手当普及員
②日本赤十字社　救急法基礎講習または救急法救急員養成講習
③上記㈰、㈪の講習会と同等の内容を有する講習（教育部が認めたもの）
④医師、看護師等の医療資格保持者は、受講したことと見做す

会員研修会の単位も取得できます。

- SIAまたはSIA各支部主催の講習会等に参加した場合、申請方法・登録料等については、主催者の指示に従ってください。
- 個人で受講した場合、認定証・受講証・修了認定カードに単位登録申請用紙と登録料を添えて、SIA事務局に提出してください。
※単位取得を希望しない場合は、単位登録申請用紙と登録料は不要です。

個人で受講した場合

- 消防署普通救命講習
- 日本赤十字社救急法基礎講習
登録料：1,000円　取得単位：2単位

- 消防署上級救命講習
- 日本赤十字社救急法救急員養成講習
- 消防署応急手当普及員養成講習
登録料：2,000円　取得単位：4単位

維持会員から活動会員への復帰について

《活動会員の必要条件》

・研修会参加（4年間に8単位取得）　・救急法講習会修了　・公認スキー学校に所属

維持会員が活動会員になろうとする場合は、これらを果たし、届けでていただく必要があります。

●研修会参加義務（4年間に8単位取得）を果たしていない場合●

前回の更新時の不足していた単位（※）を取得した後に、「活動会員復帰申請書」を申請料（1,000円）とともに提出してください。

※ご不明な場合は、SIA事務局までお問合せください。

●救急法講習会を修了していない場合●

「救急法講習会　受講の手引き」をご覧いただき、修了証等のコピーをSIA事務局に提出してください。

SIA FESTIVAL 2019 in MOUNT RACEY

◆会場／マウントレースイスキー場
◆後援（予定）／外務省、スポーツ庁、オーストリア大使館、オーストリア観光局、北海道教育委員会、タ張市、タ張市教育委員会、ゆうばり観光協会
◆協賛／タ張リゾート株式会社、SIA賛助会員　◆協力／SIA北海道支部

SIAフェスティバル2019日程 マウントレースイ		4/2		4/3		4/4		4/5		4/6		4/7		4/8		4/9		4/10	
		火		水		木		金		土		日		月		火		水	
行事名		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
アルペンスキー技術コンテスト※						■	■												
第41期アルペンスキーデモンストレーター選考会						■	■	■	■	■									
マスターズスキー技術コンテスト												■	■						
スノーボード技術コンテスト 兼 第41期・42期スノーボードデモンストレーター選考会								■	■										
テレマークスキー技術コンテスト 兼 第41期・42期テレマークスキーデモンストレーター選考会								■	■										
会員親善GSL(ISIAカード対応)										■									
新ステージⅡ 検定会(検定のみ)														■	■				
新ステージⅢ 検定会(検定のみ)														■	■				
新ステージⅣ 検定会													■	■	■	■	■	■	■
イグザミナー認定会(AP・SB・TM)													■	■	■	■			
アルペンスキーデモ選強化セミナー		■	■	■	■														
スノーボードデモ選強化セミナー						■	■												
テレマークスキーデモ選強化セミナー						■	■												
障がい者スキー教師認定会												■	■	■	■	■	■	■	■
SIAデモンストレーション													■						
オーストリア技術講習会					■	■	■				■	■	■						
オーストリアレーシング指導者&技術講習会					■	■	■				■	■	■						
オーストリア講演会											■								
山岳安全講習会(ISIAカード対応)														■	■	■	■		
スノースポーツ教師のための実践中国語レッスン														■	■				
新規及び継承開校セミナー										■									
公認スキー学校長向けプログラム（オーストリア講習会）											■	■	■						
賛助会員情報コーナー（ニューモデル試乗会含む）								■	■	■	■	■	■						
賛助会員懇談会								■											
クリーンキャンペーン													■						
ウェルカムパーティー											■								
〈一般向け〉	スキーオリエンテーリング											■	■						
	ジュニアスキー技術コンテスト											■	■						

※アルペンスキー技術コンテストは、第41期アルペンスキーデモンストレーター選考会初日を兼ねる。

■申込方法／各行事の要項・申込用紙等はSIAホームページ（www.sia-japan.or.jp）をご覧下さい。
■宿　　泊／宿泊先の指定はありませんが、この行事開催にあたり、マウントレースイスキー場及びホテルマウントレースイ様より多大なご協力をいただいていますので、オフィシャルホテル（ホテルマウントレースイ）のご利用をお願いいたします。

各大会の種目・着眼点

アルペンスキー技術コンテスト ※アルペンスキーデモンストレーター選考会初日を兼ねる

4月4日

パラレルターン ロング	・センターポジションをベースに力の伝達を目的にしたダイナミックな運動、特にターン始動時の前方への重心移動 ・外脚と内脚の同調した内傾角に伴って生じる両スキーの傾き量とターン弧に伴う両脚の運動 ・ストックを使用する
パラレルターン ショート	・状況にあったスピード、リズム、ターン弧のマッチングと有能なストックワーク ・ストックを使用する
総合滑降	・ハイスピードの中でのスピードコントロール ・斜面に応じたリズム変化をともなった滑り ・ストックの使用は自由

アルペンスキーデモンストレーター選考会

4月5日

シュテムターン ～基礎パラレル ターン	・バーン上部をシュテムターン、センターライン下部より基礎パラレルターン ・シュテムは山開きでフォールライン上でのストックを使用した引き寄せ、外スキーの内旋の軌道をベースにパラレル操作に移行 ・斜面に適した基礎的な滑走フォームの中で演技表現を行う ・中斜面に適した中速種目としてターン質、スピード、リズム、運動のバランスを表現する ・状況に合わせた上下動を使用する
パラレルターン （屈身～伸身）	・バーン上部を屈身、センターライン下部より伸身で行う ・斜面に適した基本的なスキー操作とターン構成（ズレと切れの量の調整） ・屈身操作の理解力、伸身操作の理解力を運動を使い表現する ・ストックを使用する
パラレルターン ショート （急斜面・コブ）	・不整地の中でターン弧を描き、積極的な運動 ・いかなる地形の中でもスキーと雪面のコンタクトを重視した適確な脚運動 ・滑走ラインは自由 ・ストックを使用する

4月6日

GSL （2走1採用）	2走目を滑走をしたものは2走目の成績を採用とします。 DQ（不通過判定、失格判定）も含むものとする。 ・FISルールに沿った旗門設定・クラッシュメット着用、スキーレギュレーションなし ・スタートは初日の順位順とする ・ラップタイムを出した者には、275点を与える 以下ラップタイムに遅れること0.9%ごとにマイナス 1点とする ・完走者の最低点は235点、不通過者・未完走者230点とする

SIA FESTIVAL 2019 in MOUNT RACEY

スノーボード技術コンテスト 兼 デモンストレーター選考会

4月5日

ロングターン	・スピードに乗った、斜面状況にあったロングターン ・流れのある動きとキレのある積極的な滑り ・スピードに合った重心移動と内傾が取れている滑り
ショートターン（不整地含む）	・丸い弧を描いている ・スピードに応じたコントロールができている ・積極的でスピーディーなボード操作が行われている ・斜面状況に合わせたスムーズで安定したボード操作ができている
フリー滑走	・斜面の変化に応じたキレのある積極的な操作及びスピードのコントロールができている ・安定したボディーバランスである ・ターンリズムを変化させている ・マテリアルの特性を生かした独創性のある滑りをしている
ミドルターン展開	・バーン上部をスイッチスタンス、センターライン下部よりノーマルスタンスで滑走する ・スムーズで減速要素の少ないスイッチ操作である ・積極的なターン操作と均等なターン弧 ・状況に合わせたスムーズなボード操作ができている

テレマークスキー技術コンテスト　兼　デモンストレーター選考会

4月5日

テレマークターンロング	・スムーズな脚の入れ換えのテレマーク姿勢で、ターンを適正にコントロールしている。 ・左右のターン孤のバランス及び孤の大きさが均等である。 ・安定感のあるスピーディな滑りである。 ・ストックを使用している。
テレマークターンショート（不整地含む）	・コントロールされた中でスピーディな滑りである。 ・安定感のある姿勢や適正なテレマークポジションである。 ・状況に合わせたスキー操作ができている。 ・積極的で、そして安定したスキー操作である。 ・脚の入替えがスムーズである。 ・ストックを使用している。
フリー滑走	・コントロールされた中でスピーディな滑りである。 ・斜面状況や斜面変化に応じて積極的なスキー操作をしている。 ・独創的な構成を入れている。 ・ボディバランスが良く、安定感のある滑りである。 ・安定感のある姿勢や適正なテレマークポジションである。
横滑りと基礎テレマークターン	・バーン上部を横滑り、センターライン下部より基礎テレマークターンで滑走する ・横滑りの姿勢やテレマークポジションが適切で安定感があり、斜め下方へ進んでいる。 ・基礎テレマークターンの運動・姿勢・スピードが適切である。 ・基礎テレマークターンでストックを使用している。

マスターズスキー技術コンテスト

4月7日

パラレルターンロング	・センターポジションをベースに力の伝達を目的にしたダイナミックな運動、特にターン始動時の前方への重心移動 ・外脚と内脚の同調した内傾角に伴って生じる両スキーの傾き量とターン弧に伴う両脚の運動 ・ストックを使用する
パラレルターンショート	・状況にあったスピード、リズム、ターン弧のマッチングと有能なストックワーク ・ストックを使用する
総合滑降	・ハイスピードの中でのスピードコントロール ・斜面に応じたリズム変化をともなった滑り ・ストックの使用は自由

2019実技検定種目(新ステージI〜Ⅳ)

アルペンスキー・新ステージI
①プルークボーゲン
②基礎パラレルターン

アルペンスキー・新ステージII>
①プルークボーゲン
②シュテムターン
③パラレルターン・ロング
④基礎パラレルターン・ショート
⑤指導実習

アルペンスキー・新ステージIII>
①パラレルターン・ロング伸身
②パラレルターン・ロング屈身
③パラレルターン・ショート
④総合滑降　(ロング・ショート・ミドル)
⑤指導実習
⑥ポール体験(試験なし)
※総合滑降は「ターンリズムを変化させた滑り」で、踏み換えターンを含まなくて良い
※「ポール体験」ではヘルメット着用義務があります。ハーフヘルメットで構いませんが、スキー用のヘルメットを必ず着用してください。

アルペンスキー・新ステージⅣ
①パラレルターン・ロング
②ウェーデルン
③総合滑降　(ロング・ショート・踏み換え)
④ジャイアントスラローム
⑤指導実習(検定は机上)
※ヘルメットを着用すること。ジャイアントスラローム時には、競技用ヘルメット推奨(クラッシュヘルメット／全ての部分がハードシェルで覆われている)をできるだけ着用すること。

スノーボード・新ステージI
①初歩のターン
②スライディングターン

スノーボード・新ステージII
①初歩のターン
②フェイキーターン
③ショートターン
④ロングターン
⑤指導実習

スノーボード・新ステージIII
①ロングターン
②ショートターン(両脚操作)
③総合滑降
④エアー
⑤指導実習

スノーボード・新ステージⅣ
①ショートターン(不整地含む)
②総合滑降
③スイッチ&フェイキーターン
④エアー
⑤ポール体験
⑥指導実習(検定は机上)
※ヘルメットを着用すること。

テレマークスキー・新ステージI
①シュテムテレマークターン
②基礎テレマークターン

テレマークスキー・新ステージII
①基礎テレマークターン
②バックステップターン
③テレマークターン・ロング
④テレマークターン・ショート
⑤指導実習

テレマークスキー・新ステージIII
①フロントステップターン
②テレマークターン・ロング
③テレマークターン・ショート
④総合滑降
⑤指導実習

テレマークスキー・新ステージⅣ
①テレマークターン・ロング
②テレマークターン・ショート
③総合滑降(規制)
④フリー滑降(不整地含む)　※ポール体験
⑤指導実習(検定は机上)
※ヘルメットを着用すること。

2019指導実習テーマ(新ステージII〜III)

アルペンスキー・新ステージII
①プルークファーレン〜プルークボーゲンの導入
②プルークボーゲンから初歩のパラレルターンの導入(Aパターン、またはBパターン)
③初歩のパラレルターンから両足同時操作の基礎パラレルターンの導入(ストックワーク含)
④脚部の回旋(外脚・両脚)運動ができないスキーヤーに対しての指導

アルペンスキー・新ステージIII
①基礎パラレルズレ大〜ズレが少ないパラレルターンの導入
②上下動を使ったパラレルターン・ロングの導入(ストックワーク含む)
③ショートターンの導入(ストックワーク含む)
④外足の捉えが弱いスキーヤーに対しての指導
⑤深まわりターンができないスキーヤーに対しての指導

スノーボード・新ステージII
①片脚装着での滑走から停止の指導(両サイド)
②斜め横滑りのへの導入(両サイド)
③ギルランデ浅まわりから深まわりの指導(ヒールサイド)
④ギルランデ浅まわりから深まわりの指導(トウサイド)
⑤ずれの多いターンの導入(両回転)
⑥スライディングターンの導入(連続)

スノーボード・新ステージIII
①ロングターンからショートターンへの導入(両脚操作)
②ロングターンズレからキレへの導入(両脚操作)
③後ろ脚操作ターンに必要な運動説明と導入(ターンサイズ自由)
④ショートターンの導入(後ろ脚操作)
⑤前脚操作ターンに必要な運動説明と導入(ターンサイズ自由)
⑥ショートターンの導入(前脚操作)
⑦スライドスイッチの導入(フロントサイド、またはバックサイド)

テレマークスキー・新ステージII
①テレマーク姿勢の指導
②基礎テレマークターンの導入(Aパターン)
③基礎テレマークターンの導入(Bパターン)
④不安定なテレマーク姿勢になる原因を上げて改善するための指導

テレマークスキー・新ステージIII
①フロントステップターンの有効性の説明と導入
②バックステップターンの有効性の説明と導入
③ターン弧を洗練させる説明と導入
④ショートターンの導入
⑤ターン切り換え時に両脚が揃って止まってしまう人への矯正法

2019検定会(新ステージⅡ〜Ⅳ)

行　事　名	日　程	内　容	会　場	主　催
アルペンスキー新ステージⅡ検定会	2月 6日〜 8日	講習パート1、2、検定	大鰐	北東北支部
	2月26日〜28日	講習パート1、2、検定	猪苗代リゾート	南東北支部
	2月26日〜28日	講習パート1、2、検定	爺ヶ岳	長野中信支部
	2月18日、27日〜28日	講習パート1、2、検定	菅平高原	長野東北信支部
	3月 4日〜 6日	講習パート1、2、検定	神立高原	関越支部
	3月 6日〜 8日	講習パート1、2、検定	ハチ高原	西日本支部
	3月 6日〜 8日	講習パート1、2、検定	奥志賀高原	志賀高原支部
	3月 8日〜10日	講習パート1、2、検定	朝里川	北海道支部
	4月 8日	検定のみ	マウントレースイ	教育部
スノーボード新ステージⅡ検定会	2月18日、27日〜28日	講習パート1、2、検定	菅平高原	長野東北信支部
	2月19日〜21日	講習パート1、2、検定	ニセコアンヌプリ	北海道支部
	3月 4日〜 6日	講習パート1、2、検定	神立高原	関越支部
	4月 8日	検定のみ	マウントレースイ	教育部
テレマークスキー新ステージⅡ検定会	3月 6日〜 8日	講習パート1、2、検定	奥志賀高原	志賀高原支部
	3月11日〜13日	講習パート1、2、検定	サッポロテイネ	北海道支部
	4月 8日	検定のみ	マウントレースイ	教育部
アルペンスキー新ステージⅢ検定会	2月18日、27日〜28日	講習パート1、2、検定	菅平高原	長野東北信支部
	2月20日〜22日	講習パート1、2、検定	未定	北東北支部
	2月26日〜28日	講習パート1、2、検定	猪苗代リゾート	南東北支部
	3月 4日〜 6日	講習パート1、2、検定	神立高原	関越支部
	3月 6日〜 8日	講習パート1、2、検定	奥志賀高原	志賀高原支部
	3月 6日〜 8日	講習パート1、2、検定	ハチ高原	西日本支部
	3月 8日〜10日	講習パート1、2、検定	マウントレースイ	北海道支部
	4月 8日	検定のみ	マウントレースイ	教育部
スノーボード新ステージⅢ検定会	2月19日〜21日	講習パート1、2、検定	ニセコアンヌプリ	北海道支部
	2月19日、27日〜28日	講習パート1、2、検定	菅平高原	長野東北信支部
	3月 4日〜 6日	講習パート1、2、検定	神立高原	関越支部
	4月 8日	検定のみ	マウントレースイ	教育部
テレマークスキー新ステージⅢ検定会	3月 6日〜 8日	講習パート1、2、検定	奥志賀高原	志賀高原支部
	4月 8日	検定のみ	マウントレースイ	教育部
アルペンスキー新ステージⅣ検定会	4月 7日〜10日	講習パート1、2、検定	マウントレースイ	教育部
スノーボード新ステージⅣ検定会	4月 7日〜10日	講習パート1、2、検定	マウントレースイ	教育部
テレマークスキー新ステージⅣ検定会	4月 7日〜10日	講習パート1、2、検定	マウントレースイ	教育部

支部主催行事・問い合わせ先

主催支部	担当・所属校		連絡先	E-Mail
北海道支部	支部長 佐藤 一臣	三浦雄一郎&スノードルフィンスキースクール 札幌	TEL 090-9758-2474／FAX 0134-61-3520	hsia@hotmail.co.jp
北東北支部	支部長 菅原 正人	安比スキー&スノーボードスクール	TEL 0195-73-5978／FAX 0195-68-7062	masa.suga@outlook.jp
南東北支部	支部長 梁取 克昌	ARSたかつえプロスキースクール	TEL 0241-78-7080／FAX 0241-78-5010	katsu-ya@poem.ocn.ne.jp
関越支部	支部長 井上 美知	INOUE K2 プロスキースクール	TEL 025-787-0302／FAX 025-787-1837	spooky@juno.ocn.ne.jp
志賀高原支部	支部長 芹川 正弘	ワイズスノースポーツスクール	TEL 0269-24-2180／FAX 0269-24-2181 TEL 047-458-7861(夏期)	seri@muh.biglobe.ne.jp
長野東北信支部	支部長 宮澤 具基	菅平サクラメント・スキースクール	TEL 0268-74-2007／FAX 0268-74-2007 TEL 026-222-6502(夏期)	miyazawa@sacramento-pss.com
長野中信支部	支部長 高橋 裕之	Ski-est乗鞍	TEL 0263-50-5009／FAX 0263-50-5009	sia_tyuusin@yahoo.co.jp
西日本支部	支部長 佐々木 光雄	ブロッサムスキースノーボードスクール	TEL 0749-59-0313／FAX 0749-59-0430	sasaki@okuibuki.co.jp
その他	SIA事務局		TEL 03-5542-5907／FAX 03-5542-5908	info@sia-japan.or.jp

各行事の詳しい要項・申込用紙等は、SIAホームページ(www.sia-japan.or.jp)から出力し、使用してください。出力出来ない方は、SIA事務局にご連絡ください。

会員紹介 SIA公認校で日々活動している会員の方をリレー形式でご紹介

宮﨑 寿朗 さん
アルペンスキー・ステージⅡ

所属校／ニセコアンヌプリスキースクール

SIA会員の皆様、こんにちは。ニセコアンヌプリスキースクール所属の宮﨑寿朗です。

会員紹介ということで機会を頂いたので簡単に自己紹介させていただきます。

私と雪山の出会いはかれこれ大学までさかのぼります。海沿いの雪もそれほど積もらない場所で育った私ですが、やったこともなかったスキーというものをやってみたいという衝動に駆られスキー部へと入部し、なんとか滑れるようになりました。

その後、大阪にあるスキー旅行を作っている会社へ入社し、ヨーロッパでのスキーガイドや旅行の手配などをしていました。ニセコがインバウンドで盛り上がっているということで、会社の業務の一環としてニセコアンヌプリスキースクールにお世話になったのが、スキースクールとの初めての出会いです。その後、非常勤ではあるものの、ここ3シーズンはスクールでの勤務をしており、合間に先輩にスキーを教えてもらいながら、スキー自体とスキーを教えることの奥深さを感じていました。

特に、昨シーズンは多くの期間をニセコで過ごすことができ、毎日のようにナイターを滑ったり、先輩方に山スキーへと連れていって頂いたり、ご縁があって菅平へ行ったり、志賀高原でステージⅠ（現ステージⅡ）を受けたりと、いろいろな雪山の楽しみ方や、環境やスクールを見て、新鮮でいい体験ができました。

今シーズンは子供が生まれたことや仕事の関係からあまり活動できなさそうですが、シーズンをずっと滑りきれるような環境を作っていくことが現在の目標です。

スクールの皆様、これまでご指導頂いた諸先輩方、一緒に雪遊びをした方々、検定を一緒に受けたメンバーにはこの場をお借りして感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして、また、一緒に滑る日を心より楽しみにしております!!!

NEXT 宮﨑 寿朗さんよりの次号紹介予定会員
両角 直樹さん（白樺リゾート池の平スキースクール）

柳澤 紘美 さん
アルペンスキー・ステージⅡ
スノーボード・ステージⅡ

所属校／舞子プロスキースクール

会員の皆さまはじめまして。

舞子プロスキースクールの柳澤紘美と申します。小学生の頃、スノーボードがどうしても欲しくてサンタさんにスノーボードをお願いしたことがあります。サンタさんから、怪我することも多いし危ないから、中学生になるまで我慢しましょうと違うプレゼントが来たのを覚えています。

中学生になり、スノーボードを手にした私は、休みの日は地元の小さなスキー場で土日や冬休み春休みは朝からナイターで一日中滑っていました。

高校生くらいまでどハマりして、高校になると電車で通える大きなスキー場に午前中のスキー場が始まる朝から、電車に通うほど。

それから、地元を離れスノーボードは、年に数回行く程度になりました。

それから十数年たち、またスノーボードやスキーを履く毎日。またその若い頃とは違うハマりかたですが、雪の上にいる毎日を送っています。

今は夏と冬の生活でその間にバックパッカーでいろんな国に行ったりしています。それが出来るというのが今1番の魅力なのかもしれません。

地元にいると、冬の1つの仕事として。雪が降ると生活上不便を感じることが多いものの、なんだかんだ毎年楽しめているような気がします。

NEXT 柳澤 紘美さんよりの次号紹介予定会員
田原 風子さん（ヨーデルスキー学校）

宮根 貴彦 さん
アルペンスキー・ステージⅡ

所属校／高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL

SIAの会員の皆様こんにちは。

私は長野県の志賀高原にあります高天ヶ原SKIWI SKI SCHOOLの宮根貴彦です。

私は幼少時よりスポーツが好きで学生時代はサッカーに打ち込んでいました。大学卒業後、実業団チームでサッカー選手として競技を続けていましたが、一身上の理由でサッカーを引退し、引退後は冬のスキーシーズンはここ志賀高原で主にスキーインストラクターとして活動させていただいております。

またオフシーズンは、沖縄県の方でスキューバダイビングのインストラクター のお仕事を担当させて頂き今に至ります。年間を通してスポーツ現場に携わっており日々とても充実しています。

また最近では、海外から日本に来る訪日観光客が多いことから私自身もここ数年語学に興味を持っており来年はフィリピンへの英語の語学留学と再来年には台湾へ中国語の語学留学が決定しており、学んだ語学を活かして台湾 香港 中国や東南アジアの諸国の方々の今までスキーに馴染みのなかった国や地域の皆さまにもウィンタースポーツの普及活動ができるようなインストラクターとなり、そしてスポーツ全体の国際交流の発展にお役に立てていければと、今はほんの少し準備して勉強してます。

さてスキーの方ですが、今シーズンは新ステージⅢの検定を受験予定であり、ゆくゆくは新ステージⅣも取得し、10年後にはSIAのデモンストレーターとして活動していきたいです。私の先輩でライバルのSKIWIの若森さんやフジイスポーツの下山さんを超えるスキーインストラクターになります。

私自身いつも心に留めていることですが、目標が語学力の向上やスキーの資格取得ではなく、私自身がスポーツを通して産業振興や国際交流などの架け橋になり貢献することであり、スポーツを通してもっと元気にを合言葉に今後とも想像してない想定外のワクワクしたことにチャレンジしていきますので、会員の皆さんこんな駆け出しの私ですがどうぞどうぞ何卒よろしくお願いたします。

最後になりましたが、私をここまで育ててくれている志賀高原のスキー関係者の皆様、特にフジイスポーツサービススキースクールの方々、SKIWI SKI SCHOOLの方々いつも暖かいご指導とご支援ありがとうございます。

P.S最近趣味でマラソン、サッカー観戦、海外旅行にハマってるので、会員の皆さんで少しでもピンときたらお友達になってください。よろしくです。

NEXT 宮根 貴彦さんよりの次号紹介予定会員
西田 茉鈴さん（TSO SKI ACADEMY）

スキー教師を続けていくためのヒント

流石 健一 さん
アルペンスキー・ステージⅣ
所属校／米沢省吾プロスキースクール

みなさんこんにちは。米沢省吾プロスキースクールの流石健一です。

父の影響で2歳頃よりスキーを始めて今年で36シーズン目に入りました。小学生の頃から高校生まで長野県スキー連盟で競技スキーをやっていたのですが、大学入学を機にSIAの門をたたきました。2001年にステージI、2002年にレベルIを取得し、スノースポーツ教師として新たなスキー人生をスタートさせました。テレマークの認定教師制度が出来た年にテレマークレベル1も取得しました。

スノースポーツインストラクターとして菅平高原を基盤としてスキー界全体の盛り上がりに少しでもお役に立つ事が出来ればと思っています。

実家が長野県菅平高原でホテル経営をしていて、ゲレンデまで徒歩0分のスキー・スノーボード・テレマークをやりなさいという環境で育ったので、幼少期からスノースポーツに携わりながら父の後を継いで仕事をして行くと決めていました。大好きな地元で大好きなスノースポーツをしながら仕事が出来ることに感謝をしながら、スキー人口の減少をどう回復していけばいいかと地元の観光協会の同志と模索している日々を過ごしています。

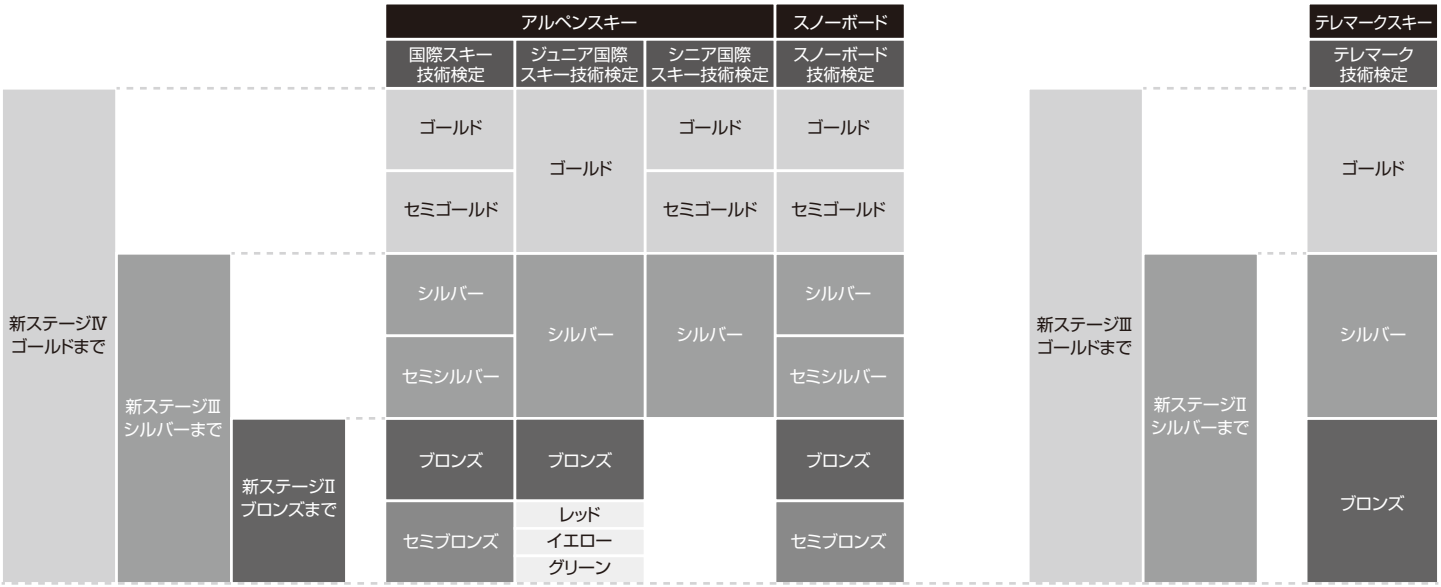
オフシーズンはスポーツ合宿のメッカ菅平高原ならではのラグビー・サッカー・陸上・音楽等の学生の合宿を相手にホテル経営をしています。春と秋の閑散期はレタスや白菜と言った高原野菜作りに汗を流しています。

スノースポーツインストラクターとして18年の歳月が経ちました。その間にいろいろな方と知り合い、全国のスキー場にインストラクター仲間が出来たことに喜びを感じています。雪山を愛好する者として今後とも皆様とともにスキー界の発展に貢献していけたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

NEXT 流石 健一さんよりの次号紹介予定会員
小林 禎方さん(Dual Mountain SKI SCHOOL)

●メダル検定員資格について

2018年12月1日より実施された新資格変更に伴い、下記のようになります。
・従来のステージI→新ステージⅡ、ステージⅡ→新ステージⅢ、ステージⅢ→新ステージⅣとなっています。
　従来の資格におけるメダル検定員資格の内容に変更はありません。
・各種目とも、新ステージⅣ=ゴールドまでの全検定、新ステージⅢ=シルバーまで、新ステージⅡ=ブロンズまでと統一されています。
・例外として、テレマークは新設して間もないため、現状では新ステージⅢ=ゴールドまで、新ステージⅡ=シルバーまでとなっています。



SIA賛助会員一覧

SIAは下記の法人賛助会員、個人賛助会員の皆様に、多様な形でご支援いただいています。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
www.aioinissaydowa.co.jp

Canadian Sports Business Academy
www.canada-sports.net

株式会社ドリームゲート
www.aspen-skishop.com

株式会社マックアース
www.macearth-web.com

株式会社ICI石井スポーツ
www.ici-sports.com

株式会社キャラバン
www.caravan-web.com

NORTHRANGE
www.northrange.jp

ミズノ株式会社
www.mizuno.co.jp

株式会社アイ・シー・ジャパン
www.ic-j.co.jp

株式会社クアトロデザイン
www.quattro.tokyo

日本ケーブル株式会社
www.nipponcable.com

YAMAGA BLANKS
yamaga-blanks.com/ski/

株式会社アプルラインド・ジャパン
www.applerind.jp

グループ・ロシニョール株式会社
www.grkk.co.jp

株式会社ハンクス
http://www.kei-ski.co.jp

株式会社山五企画
www.yamagokikaku.jp

アメアスポーツジャパン株式会社
www.amerjapan.com／www.salomon.co.jp

株式会社クロスプロジェクトグループ
www.x-pg.com

株式会社フェニックス
www.phenix.jp

山本光学株式会社
www.yamamoto-kogaku.co.jp

株式会社岩手ホテルアンドリゾート
www.appi.co.jp

株式会社ゴールドウイン
www.goldwin.co.jp／www.fischer.co.jp

株式会社ブルーモリス
http://www.bluemoris.com/

株式会社ユーロギア
www.dainesejapan.com

株式会社エクスメディア
http://xmedia-inc.co.jp/

株式会社シナノ
www.sinano.co.jp

株式会社プレスト
www.presto-pre.com

ラフマ・ミレー株式会社
www.millet.jp

エランジャパン株式会社
www.elanjapan.co.jp

ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社
www.jaguar.co.jp / www.landrover.co.jp

HEAD Japan 株式会社
www.head.com

株式会社レクザム
www.rexxam.com

LBC株式会社
www.lbcweb.jp

株式会社テクニカグループジャパン
www.tecnica-group.co.jp

ヘルト株式会社
www.held.co.jp

株式会社ロータスインターナショナル
www.lotusint.co.jp

株式会社小賀坂スキー製作所
www.ogasaka-ski.co.jp

デサントジャパン株式会社
www.descente.co.jp

有限会社ベイリーフ
www.yoroi-blp.com

オンヨネ株式会社
www.onyone.co.jp

株式会社東急リゾートサービス
www.resortservice.co.jp

MDVスポーツジャパン株式会社
www.mdvsports.co.jp

個人賛助会員一覧（敬称略）

阪田	幸信	小澤	征爾	佐藤	亮	佐藤	兼子	柴田	恵美子	竹石	惇樹	中野	孝	西倉	静夫	稲村	圭一	加藤	聡	新井	裕三	佐合	和夫	小堀	博彦
山口	健二	舟橋	洋	谷畑	隆夫	小林	和子	愛甲	勝久	安部	明人	細貝	正紀	縣	信哉	幸保	浩司	本山	公平	本山	美津子	本田	清人	後藤	響子
林	永信	大島	和子	鈴木	智	秀島	一生	瀬口	洽六	八代	益	佐藤	開	伊東	善文	柴崎	秀子	和田	幸子	前河	喜美子	川端	潤一	下山	達也
小松	直喜	廣村	賢治	藤田	冨美子	石原	重厚	荒木	俊樹	後藤	照雄	佐取	広久	山本	みゆき	増山	一	古池	道弘	手取屋	岳夫	吉田	宗弘	黒川	光博
黒川	正博	大島	智朋	藤田	繁	坂村	英之	坂村	美代子	阿部	武彦	安藤	滋敏	山本	良樹	木村	濱雄	梶井	晃	小山	登	杉山	進	本間	政雄
石山	亜希実	中山	和子	稲田	信一	大森	和子	石川	止善	岩楯	駒子	四方	すすむ	伊東	清光	多田	正樹	森川	哲己	歌田	勝弥	歌田	作子	古藤	黎子
毛塚	明美	下田	裕二	流石	康一	藤木	忠善	長谷	哲生	大平	正春	町田	左喜男	秋吉	保廣	土屋	清三	神蔵	弘昭	小松	孝行	野原	勝敏	並木	すみ
清水	正也	伊藤	哲也	大楠	晴海	大楠	文代	阿部	耕司	阿部	真紀	望月	國平	小林	修一	細川	たかし	矢沢	日出子	大神田	裕司	戸丸	瑞世	戸丸	隆三
佐藤	節也	清宮	始	関戸	啓子	本杉	佳子	岡崎	正人	細川	真理	豊田	道次	大堀	堯義	下山	修	海宝	雄太	土田	茂	江畑	千恵子	平田	孝夫
小上	忠	髙木	正博	見谷	昌禧	園原	孝子	青木	惠子	石橋	妙子	岡本	初子	檜野	勝衛	福興	孝子	杠	一義	梶原	彬賓	加藤	昌利	小野木	淳
高野	勝廣	濱野	優子	藤本	幸二	丸山	正廣	後藤	圭二	佐 藤	晴 雄	池田	祐久	池田	直樹	池田	有輝	王	万永	中釜	恵里	吉田	良作	鷲見	浩平
高田	徹	高田	万友美	大久保恵美子		本杉	恵子	島﨑	勉	山口	多喜二	熊谷	康雄	熊谷	眞理	井上	裕明	松渕	得郎						

体力と動作の科学⑯　スキーヤーの動作（7）大回転競技のライン取り

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
三浦 哲

今回は、大回転競技におけるライン取りについて、科学的な分析結果を基に考察します。

1.高校・一般（アマチュア）選手のライン取り（斜度20度以上の急斜面）

（1）高校選手

インターハイ大回転競技における上位群（10位以内5名、失敗者除く）と中位群（60位前後、6名）のライン取りの比較を行いました（三浦たち,2002）。

分析は、図1に示したコース中央の急斜面（斜度約22度）において、図2の14旗門から15旗門にかけて、5台のビデオカメラで選手の正面および横から撮影し、3次元分析を行いました。

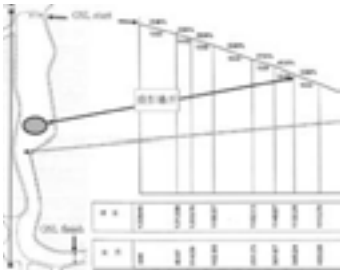


図1　インターハイ大回転競技コースと前半斜度等（三浦たち, 2002）

図3にライン取りの結果を示しました。点線が上位群、実線が中位群で、それぞれ5名と6名の平均のライン取りです。14旗門を通過したターン後半から、徐々に重心軌跡が離れていきました。上位群は、比較的直線的に滑走していましたが、中位群は上位群に比べ、斜面の上から15旗門に入り、いわゆる「巻いて」、遠回りをするように滑走していました。このことは、以前紹介した、ターン後半での左右の動作において、上位選手の重心および下腿内傾角は,第14旗門通過の後に最も大きくなっており、急斜面のため（斜度によってタイミングは異なり、緩斜面であれば、旗門通過と近いタイミングになります）、ターン後半に大きくかかる重力をタイミングよく,ターンそのものや切り換えに利用し、直線的な滑走ラインにつなげていました。

中位選手の重心および下腿内傾角は第14旗門通過と同時に最大になっており、旗門にあたる（接触する）ことや旗門でタイミングをとってターンしようとし、ターン後半に大きくかかる重力が十分に利用できずに、その後にもう一度、内傾角のピークが見られ、いわゆる二度踏みのような操作で切り替えてターン前半を「巻いて」いました。指導において、中位選手は、まず、ターン後半の荷重のタイミングを学習する必要があります。さらに、この3旗門以前の前半に緩斜面が続いていたため、緩斜面のリズムから急斜面のリズムに変えることができていない可能性もあり、斜面変化での動きやリズムの修正も必要となりそうです。

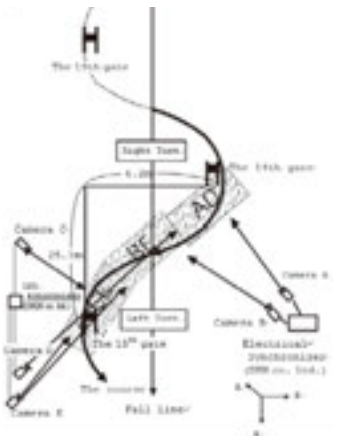


図2　撮影場面（三浦たち, 2002）

（2）一般（アマチュアからセミプロ）選手

イタリアで、高いレベルのアマチュア選手と、セミプロ選手2名において実験的な大回転競技5旗門を斜度34度の急斜面で正面から撮影し、左右足部位置の平均（地面に投影した重心位置に近い:Sforzaたち,1995）を真上から数学的に計算（フーリエ解析）した滑走ラインを図4に示しました（Ferrarioたち,1997）。

点線がアマチュア選手、破線と実践がセミプロ選手です。日本の高校生と同じように、技術レベルの高い選手が直線的に滑走していていました。

2.世界チャンピオンのライン取り

大回転の世界チャンピオン選手を実験的に6回滑走させ、最速2本と最も遅い2本（このターンのタイム差0.04秒）のそれぞれの平均の滑走ラインを、図5に示しました（Spörriたち,2012）。ターン始動時に1.60m、ターン終了時に1.98m斜面上の高い位置で滑走し、高校選手や一般選手と異なり、最速タイム2本平均が斜面の上から入るライン取りでした。おそらく、高校中位選手や一般の高いレベルのアマチュア選手より、直線的に滑走しており、その直線的な滑走ラインの中でも、滑走ラインがわずかに下がってしまうことで、タイムが遅くなることが示されました。

3.ライン取りにおける指導

急斜面でのライン取りの指導は、基本通り上から入ることとなります。その中で、荷重のタイミングが重要であり、早すぎず、遅すぎず、適切なタイミングでの荷重が必要になります。ただし、タイミングを合わせれば、滑らかに滑走できるかどうかについてですが、一般選手の研究では、滑走速度に違いがあり、速度が異なることで、タイミングを合わせても間延びするなどの異なる影響も考えられます。高校中位選手の二度踏みのような動作も、こうした間延びを経験・感覚的に修正した可能性もありますので（斜面の掘れ方も滑らかではありましたが、影響している可能性もあります）、これらのことを考慮して、大きな動作を行って二度踏みをしない指導も、ひとつの方法になりそうです。ただし、大きな動作では、タイミングを合わせるポイントの練習になりますが、滑走速度が上がらない可能性もあり、旗門を少し狭くしたセットでの上位選手の速い速度でのリズムの体得と合わせて行うと効果がある可能性があります。

また、世界チャンピオンは、斜面の比較的上からの滑走ラインが速く、全国レベルから世界レベルに近づいた際には、こうした適切な滑走ラインの違いを考慮した指導が必要になり、選手のレベルや動作などに合った指導が必要になります。

4.斜度と旗門、速度の関係

近年の研究では、GPS（正確には、dGNSS: differential global navigation satellite systems という、GPSよりも正確な方法）を用いて、大回転から滑降までのコースの地形を計測し、斜度、旗門と速度との関係を明らかにしています（Gilgienたち, 2015）。大回転とスーパー大回転では、斜度が大きい（急になる）と速度は遅くなっていました。このことは、急斜面での旗門間距離を短い旗門セットにしていたことで、減速して速度が抑えられていました。今後、こうした研究が、選手の障害予防などに反映され、ルールを考える資料となります。このように、スキーの科学は、まだまだ様々な情報を検討し、スキー競技の発展に寄与していく段階にあります。

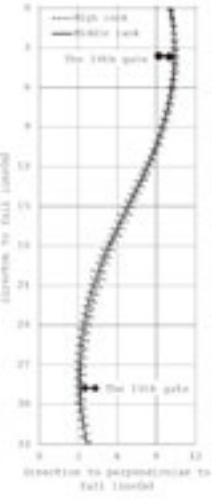


図3　インターハイ上位と中位選手の重心軌跡平均（三浦たち, 2002を加筆修正）

図4　大回転5旗門の上から見た軌跡（点線：アマチュア、破線と実線：セミプロ；Ferrarioたち,1997）

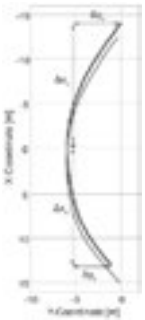


図5　最速試技2本平均と最も遅い2本平均の重心軌跡（黒：最速2本平均、グレー：最も遅い2本平均）

図6　オーストリア・キッツビューエルの滑降競技コースと旗門（Gilgienたち, 2015）

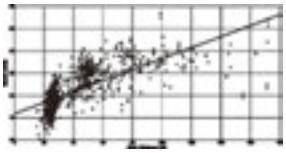


図7　旗門間距離と選手の速度との関係（Gilgienたち, 2015）

【文献】　三浦哲, 三浦望慶, 高野　大, 結城匡啓（2002）全国高等学校スキー大会男子大回転競技における三次元動作分析., 日本スキー学会第12回大会号, pp. 56-57.
Ferrario, V. F., Sforza, C., Michielon, G., Dugnani, S., Mauroa F.(1997) Mathematical Method for the Analysis of Trajectories in Giant Slalom. Science and Skiing, E & FN Spon,UK. pp.107-115.
Sforza, C., Michielon, G., Grassi, G., Alberti, G., Ferrario, V. F.(1995) Bivariate analysis of the repeatability of football offensive schemes. Proceedings of the III World Congress Science & Football, Cardiff (UK).
Spörri, J., Kröll, J., Schwameder, H., & Müller, E. (2012). Turn characteristics of a top world class athlete in giant slalom – A case study assessing current performance prediction concepts. International Journal of Sports Science & Coaching, 7(4), 647–659.
Gilgien M, Crivelli P, Spörri J, Kröll J, Müller E (2015) Characterization of Course and Terrain and Their Effect on Skier Speed in World Cup Alpine Ski Racing. PLoS ONE 10(3): pp.1-25.

「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」DVD付属

角付けと重心移動を基本要素として使った、安全かつ効率良い指導理論を誌面と映像で展開。アルペンスキー、スノーボード、テレマークの3種目に対応する最新の技術指導書です！！

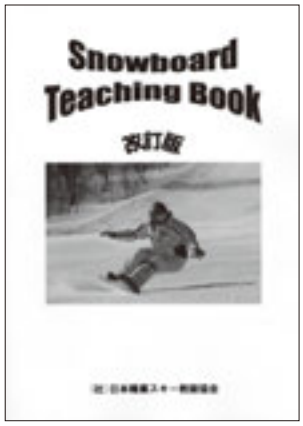
【発　行　日】平成24年11月
【定　　価】3,456円
【会員価格】2,962円

2020年秋 新教程・発刊予定

日頃のレッスンでは様々な工夫を凝らし、個性的なレッスンをされていると思いますが、そのベースとなっているのは「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」です。最近の用具の変化がその操作や指導課程にも影響を及ぼし、それらが新教程発行のコンセプトを形成している事はご承知の通りです。

公益社団法人となったSIAに今求められるのは、協会の所属会員が同じ意思を持って、公益の責任を果たすことです。すなわち、“SIAの理念”の下に「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」に則り、お客さまに喜ばれる技術指導を行う事です。「SIA公式スキー&スノーボードメソッド」は、会員必携の書として、全会員が購入していただきますようお願い申し上げます。

「スノーボードティーチングブック」改訂版



平成18年に発刊した指導者向けスノーボードティーチングブックの改訂版。今回は、スノーボードのターンの仕組みを2部構成で分かりやすく解説。指導者としてスノーボードを伝えて行く上で、横向きである　以上避けられない事実を踏まえ、初心者からの指導手順を掲載しています。

【発行日】平成21年11月
【価　格】1,080円（税込）※SIA会員・準会員のみ販売
【送　料】1冊＝164円、
2〜5冊＝360円
6〜19冊＝お問い合わせください
20冊以上＝無料

最新オーストリアスキー教程

最新のオーストリアスキー教程の日本語版。キッズスキーからスノーボードまで、スノースポーツ全般の教程。スキーを教えるためのプロセス満載です。指導者はもちろん、技術志向の方も必見の内容です。

【発　行】実業之日本社www.j-n.co.jp/ski/
【発行日】平成19年11月15日
【価　格】1,620円（税込）
【送　料】1冊＝360円
2〜19冊＝お問い合わせください
20冊以上＝無料

SIAテレマークスキー指導体系

準備過程から応用過程まで、連続写真とアドバイスを一連で解説。

【価　格】720円（税込）
※SIA会員・準会員のみ販売
【送　料】1冊＝164円
2〜5冊＝360円
6〜19冊＝お問い合わせください
20冊以上＝無料

ワッペン／エンブレム／会員バッチ

エンブレムワッペン（ブレザー用）
〔横68㎜×縦70㎜〕
SIA正会員のみ販売　5,400円（税込）

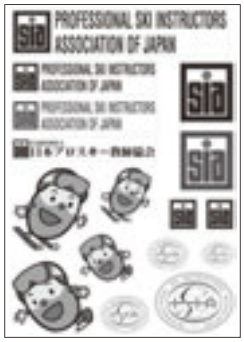
エンブレムワッペン（スキーウエア用）
〔横63㎜×縦58㎜〕
SIA正会員のみ販売　864円（税込）

会員バッチ
SIA正会員のみ販売
1,285円（税込）

ISIAワッペン
〔横78㎜×縦61㎜〕
SIA正会員のみ販売
864円（税込）

【送　料】
1枚＝82円、
2〜5枚＝160円

SIAステッカー



【価　格】
720円（税込）
【送　料】
無料

申込方法

所定の申込用紙に料金と送料を添えて、現金書留で若しくは銀行振込でSIA事務局へお申し込みください。

◆現金書留の場合…送付先
〒104-0032東京都中央区八丁堀2-2-9 コバキンビル3F
公益社団法人日本プロスキー教師協会

◆銀行振り込みの場合…振込先
三井住友銀行京橋支店　普通預金　7098636　公益社団法人日本プロスキー教師協会
※送付先等を FAX.03-5542-5908、若しくは E-mail: info@sia-japan.or.jp でご連絡ください。

◆郵便局「払込取扱票」の場合…振込先
東京 口座記号 00100-7 口座番号　538041 加入者名 公益社団法人日本プロスキー教師協会

宛名ラベルの見方

104-0032
東京都中央区八丁堀2-2-9
コバキンビル3F
須木 太郎　様　No. 8888
種別：活動会員　所属：SIAスノースクール　送付：S
有効単位：8　救急法：○　40期保険：4444
更新日：2019/9/30　有効期限：2019/7/25　会費：4039

●「No.」／会員番号を示しています。
●「種別」／「活動会員」か「維持会員」であるかを示しています。「活動会員」になろうとする場合、4年間で8単位取得することと救急法の資格が有効であることと公認スキー学校に所属していることが必要条件となります。
●「所属」／登録されている所属校を示しています。
●「有効単位」「更新日」／「有効単位」は現在の有効単位を示しています。「更新日」までに8単位以上の単位取得が必要です。
※「更新日」を迎えると、次の「更新日」は4年間後となります。更新したことにより、「有効単位」は0単位と表記されます。4年後の「更新日」までに8単位取得することにより資格が更新されます。
●「救急法」「有効期限」／「救急法」救急法講習の受講状況を示しています。
◎=日本赤十字社救急法救急員（または同等の資格、消防署応急手当普及員等）
○=上記以外（普通救命講習、上級救命講習、救急法基礎講習等）
すでに受講しているにもかかわらず、「救急法」欄に◎印や○印が付いていない場合、修了証のコピーをSIA事務局宛にご送付ください。
「有効期限」は「救急法」の有効期限を示しています。受講証の有効期限がない場合、SIAとしての有効期限3年としています。
●「会費」／未納会費は、年会費が未納となっている会期を示しています。
◆空欄=未納会費なし。
◆会費／40=40期の会費が未納です。
◆会費／40　39=40期及び39期の会費が未納です。
●「保険」／SIA正会員総合補償制度の保険番号等を示しています。
（あいおい損害保険株式会社402662501－●●●●の黒丸部分を宛名ラベルに記載しています）空欄の方は未加入です。
※この保険は、9月末日までに年会費を納入した会員のみ適応されています。（補償期間は、12月1日～翌11月30日）
このため10月1日～11月30日発行の宛名ラベルには、保険番号ではなく対象予定であること等が表示されます。
※現在未加入の方でも、年会費に2,000円（学校長は4,000円）プラスしてご入金頂くと追加で加入出来ます。
●「送付」／シーズン中（12月～3月）の郵便物送付先について
本人のご希望により、"所属スクール宛"若しくは"協会登録住所（ご自宅）宛""送付不要"を選択できます。貴方の送付先については、宛名ラベルの送付欄が次のように登録されています。
◆送付／S="所属スクール宛"
◆送付／J="協会登録住所（ご自宅）宛"
◆送付／N="送付不要"
※"送付不要"について
●御家族に会員がおり、同様の郵便物が重複している方
●インターネットを活用しているので、郵便物は必要ないという方等

「住所等変更」の場合、すみやかに届け出を
転居等により、住所等に変更があった場合、すみやかにSIA事務局へ届け出てください。（市町村合併等による住所表記変更の場合も手続きを行ってください。）
SIAホームページに「住所等変更」連絡フォームを設置しています。
（トップページ→お問い合わせ→「住所等変更」連絡フォーム）住所連絡先等の変更をSIA事務局へ連絡することができます。

メールアドレス登録のお願い
メールアドレスを登録すると、SIAから研修会などの情報が配信されます。
登録には、SIAホームページ内「住所等変更」連絡フォームをご利用ください。

SIA年会費自動払込手続きについて

会員の皆様の「会費」は協会財源として運営の要になっております。会費を納めやすいようにSIA年会費「自動払込」のご登録の推進を図っております。
「会員付帯の補償制度加入」や送金手数料が不要になるなどの特典もございます。会友の皆様も会費の納入を失念されることもなく、送金手数料なしで納めていただけます。
お手続に際しましては、以下の内容をご確認いただきますようお願いいたします。

● 引落振替日：毎年9月27日（休日の場合は翌営業日）
● 引落振替案内：毎年6月のSIAニュースに引き落としのご案内を同封致します。
● 通帳への印字：「SMBCファイナンス」で表示されます。
● 引き落とし額：来期第41期の引き落としは9月27日（金）です。
来期より引き落とし年会費は下記のように変更になります。
正会員・新ステージⅣ／15,000円
正会員・新ステージⅢ／13,000円
正会員・新ステージⅡ／11,000円
認定会員・新ステージⅠ／ 6,000円
● 会費の前納：会費の支払は9月30日迄に納入することになっています。
引き落とし完了と共に「会員付帯の補償制度」へ自動的に加入手続がされます。
「自動払込」手続きをされていない会員の皆様へは、郵便払込取扱票を毎年6月発行のSIAニュースに同封いたしますのでご利用ください。
● 口座の変更：引き落とし口座の変更がある場合は新たに依頼書の提出が必要です。（締切:5月末日）
● 退会時の手続：退会（会友制度への手続ナシの場合）が決定しますと自動払込の登録を削除します。
● ご注意：2年続けてお届けの口座から引き落としが出来ない場合（シキンブソク等）は登録を抹消させていただきます。新ためて「自働払込」を希望される場合は新規の登録が必要になります。
引き落としが出来なかった場合は事務局より連絡いたします。

尚、ご不明な点等ございましたら手数ですがSIA事務局迄ご一報ください。

〈次号予告〉　次号SIAニュースVol.181は2019年6月25日発行予定です。
お届け先については「宛名ラベルの見方」をご覧ください。

発　行　元／公益社団法人 日本プロスキー教師協会（SIA）
発　行　人／中島英臣
編　集　人／杉山公信
編集スタッフ／奥村　治　横元信明　久慈修　江畑昌英
米花正裕　宮崎　哲　山口　圭　出口　超　高塚　彩
里中英二　五井裕行　大峡慎吾
問　合　せ／〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-9 コバキンビル3F
TEL. 03-5542-5907　FAX. 03-5542-5908
URL　http://www.sia-japan.or.jp
E-mail　info@sia-japan.or.jp

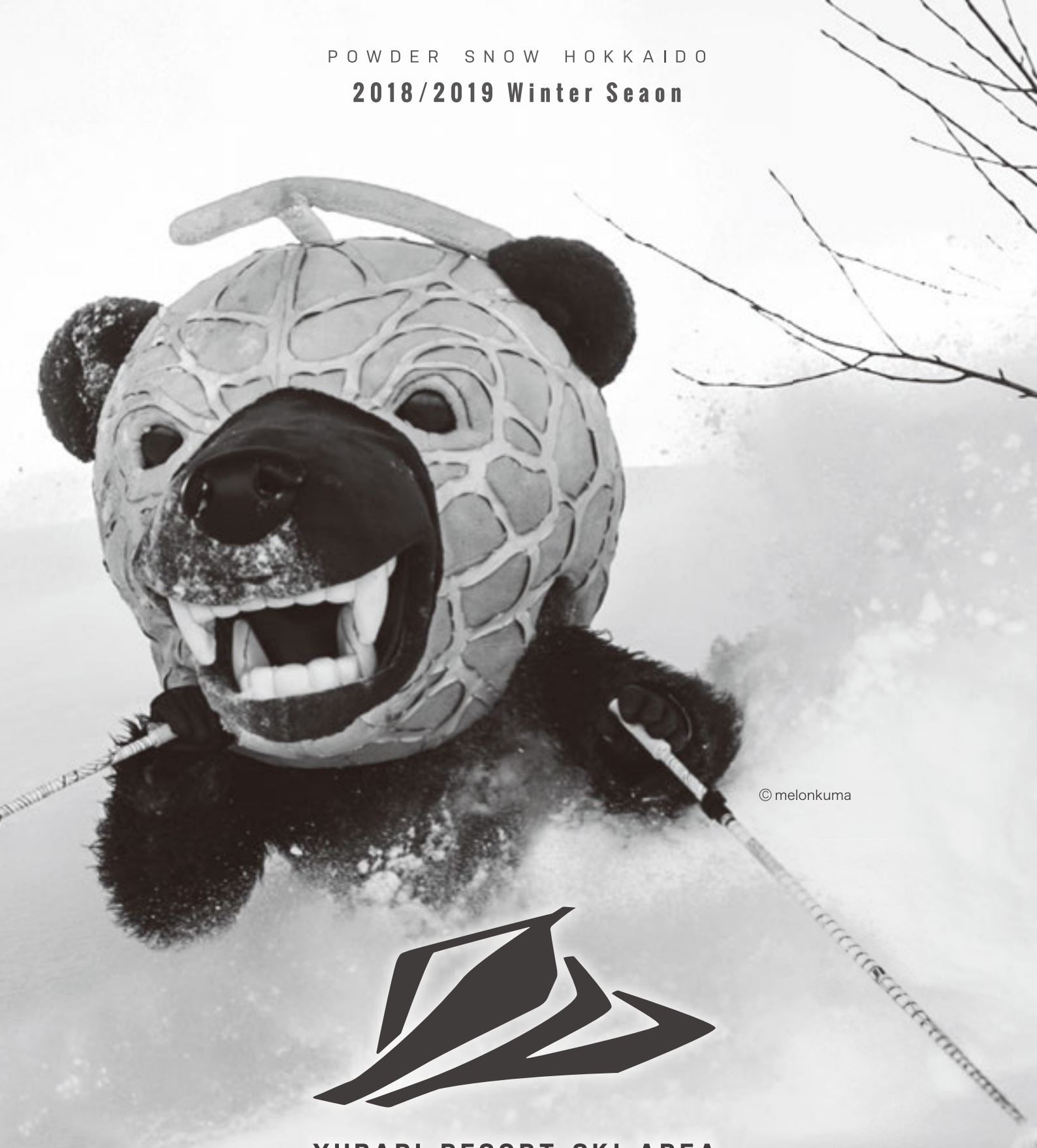
SIA NEWS VOL.180 CONTENTS

発行日／平成31年1月25日

総裁コラム …… 1
会長コラム／新役員紹介 …… 2
新役員紹介／事務局新体制 …… 3
会員研修規定運用に関する説明
救急法受講の手引き／維持会員から活動会員への復帰について …… 4
SIA FESTIVAL2019各種開催要項 …… 5･6･7
検定会情報 …… 8･9
会員紹介 …… 10
スキー教師を続けていくためのヒント／メダル検定資格について …… 11
賛助会員一覧 …… 12
体力と動作の科学⑯ スキーヤーの動作（7）大回転競技のライン取り …… 13
販売物紹介 …… 14
お知らせ …… 15

POWDER SNOW HOKKAIDO

2018/2019 Winter Seaon



© melonkuma

YUBARI RESORT SKI AREA

MOUNT RACEY

夕張リゾート マウントレースイスキー場

http://yubari-resort.com

新千歳空港から一番近いウィンターリゾート　札幌から約60km　新千歳空港から約55km

Hotels & Ski Area Yubari Resort　ホテル マウントレースイ HOTEL MOUNT RACEY　ホテル シューパロ（ゆうばり） YUBARI HOTEL SHUPARO　合宿の宿 ひまわり　FISCHER BASE MOUNTRACEY　HOKKAIDO SKI SEASON NET　10代最後の魔法がかかる 雪マジ!19 SNOW MAGIC